

### アウトリーチチームの活動について

アウトリーチ活動は、平成29年度より区民活動センター圏域ごとに配置する職員によるアウトリーチチームが中心となって進めており、一人ひとりの区民や世帯が抱える様々な課題に包括的に対応するため事務、福祉、保健師の3職種でチームを構成している。地域福祉、健康づくり、医療の視点を活かし、町会・自治会、民生児童委員など多くの地域活動団体や、社会福祉協議会、地域包括支援センター等関係機関と連携することで支援を必要とする区民を発見し、必要な支援につなげるとともに地域の潜在的なニーズや課題の発見や、地域におけるネットワークづくりにも取り組んでいる。

#### 1 活動状況(過去3年間の実績)

(1)アウトリーチチームが対応して適切な支援につなげた要支援者数※ (単位:人)

	把握した 要支援者数	うち、支援に つなげた人数	支援に つなげた割合
H31年度	367	278	75.7%
H30年度	399	285	71.4%
H29年度	147	111	75.5%
<b>合計</b>	<b>913</b>	<b>674</b>	<b>73.8%</b>

※同じ相談で複数年にわたって支援が継続している場合には初年度のみカウントしている。

(2)アウトリーチチーム活動開始の契機 (単位:人)

	総数	本人	家族	知人	町会	民生 委員	その他 ※
H31年度	367	67	14	18	20	87	161
H30年度	399	85	8	24	18	133	131
H29年度	147	30	2	7	11	46	51
<b>合計</b>	<b>913</b>	<b>182</b>	<b>24</b>	<b>49</b>	<b>49</b>	<b>266</b>	<b>343</b>
%	100.0%	19.9%	2.6%	5.4%	5.4%	29.1%	37.6%

※ その他:地域包括支援センター、社会福祉協議会、区民活動センター運営委員会事務局、地域住民など

(3)アウトリーチチームが対応した要支援者の年代（単位：人）

	総数	0～ 49歳	50～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳 以上	不詳
H31年度	367	10	18	18	33	46	74	58	35	3	4	68
H30年度	399	9	29	19	30	68	82	102	39	8	0	13
H29年度	147	0	8	3	14	28	37	20	25	2	0	10
<b>合計</b>	<b>913</b>	<b>19</b>	<b>55</b>	<b>40</b>	<b>77</b>	<b>142</b>	<b>193</b>	<b>180</b>	<b>99</b>	<b>13</b>	<b>4</b>	<b>91</b>
%	100.0%	2.1%	6.0%	4.4%	8.4%	15.6%	21.1%	19.7%	10.9%	1.4%	0.4%	10.0%

85歳以上 32.4%

75歳以上 69.1%

(4)アウトリーチチームが対応した内容(複数回答)（単位：人）

	総数	健康・ 医療の 問題	家族の 問題	住居の 問題	近隣の 問題	法律的 な問題	経済的 な問題	就労等 の問題	その他 ※1
H31年度	367	207	31	23	56	15	10	8	92
H30年度	399	202	55	16	89	10	16	3	24
H29年度	147	72	21	5	26	1	6	3	38
<b>合計</b>	<b>913</b>	<b>481</b>	<b>107</b>	<b>44</b>	<b>171</b>	<b>26</b>	<b>32</b>	<b>14</b>	<b>154</b>
%	※2	52.7%	11.7%	4.8%	18.7%	2.8%	3.5%	1.5%	16.9%

※1 その他：行政手続きの相談、災害対応の相談、安否確認の依頼、状況確認の依頼、他機関からの照会など

※2 複数回答のため、それぞれのパーセンテージを合計しても100%にはならない

2 人材育成の取組

アウトリーチ支援を担う職員が、支援を必要とする区民に対して適切に対応し、より効果的に業務を遂行していくためには、アウトリーチチーム職員の人材育成と業務の標準化が重要である。そのため、アウトリーチチームの活動指針としてのハンドブックの作成・活用と、実際の事例に則して学ぶ事例発表会の開催を人材育成の手段とし、下記のとおり実施した。

(1)中野区アウトリーチ支援ハンドブック

区は平成30年度に中野区アウトリーチ支援ハンドブックを作成し、アウトリーチ支援の定義・内容の具体化と支援に関する標準的な達成水準を定めた。また、アウトリーチ支援における一般的な手順・方法等を示し、アウトリーチ支援に活用することで対応のレベルアップを図っている。

◆ハンドブックの主な構成

【基礎編】

アウトリーチ支援とは／個別相談支援活動／地域社会資源ネットワーク活動／潜在ニーズ・課題発見活動／個人情報の取り扱い／アウトリーチ支援の連絡会

【応用編】

個別相談支援活動／地域社会資源ネットワーク活動／潜在ニーズ・課題発見活動

(2)アウトリーチ活動事例発表会

アウトリーチチームの具体的な活動内容について、活動事例の発表の機会を設け、課題解決策等の共有化を図り、相互に学びあう機会としている。

① 平成30年度 アウトリーチ活動事例発表会(2回開催)

ア 前期

日 時 平成30年10月10日(水) 9時30分～11時30分  
会 場 区役所7階 第8～10会議室  
参加人数 86人

イ 後期

日 時 平成31年3月27日(水) 15時～17時  
会 場 区役所7階 第8～10会議室  
参加人数 93人

② 平成31年度(令和元年度)アウトリーチ事例発表会(1回開催)

ア 前期

日 時 令和元年10月24日(木) 15時～17時  
会 場 区役所7階 第8～10会議室  
参加人数 90人

イ 後期 令和2年3月11日(水)【中止】

3 新型コロナウイルス感染症にかかる取組

(1)新型コロナウイルス感染予防及びフレイル予防チラシの配布

民生委員と連携・分担し、高齢者世帯に新型コロナウイルス感染予防及びフレイル予防チラシをポスティングした。

対 象 75歳以上の単身世帯または高齢者のみの世帯 約2,800世帯  
(民生委員の高齢者訪問調査対象者以外の方)

時 期 4月下旬から5月上旬

(2)困りごとの把握、安否確認などのための架電

対 象 上記ポスティング対象者のうち、電話番号を区が把握している下記の方

①緊急連絡カード提出者(約230世帯)

②災害時個別避難支援計画書作成者(約1,100世帯)

合計 約1,210世帯 ※①②に重複しているのは約120世帯

時 期 5月下旬から6月上旬

内 容 ①日常生活の様子  
②困りごと、心配なこと  
③頼れる家族、親族の有無など

(3)新型コロナウイルス陽性自宅療養者緊急支援

対 象 ①新型コロナウイルス感染症のウイルス遺伝子(PCR)検査で、陽性となった方のうち、事情により直ちに入院または宿泊療養をしていない方で、家族等の支援が受けられないなど食料品等の調達が困難な方

②上記と同居の18歳未満の子又は介護が必要な家族

時 期 5月1日(金)から開始

内 容 調理が不要の食料品、日用品等を詰め合わせた「生活支援セット」を配達

今後、高齢者会館等での事業再開にあたり、アウトリーチチームは引き続き支援を必要とする区民の情報を収集し、適切な支援につなげていくための取組を行っていく。